

弘 前 大 学

## 國 史 研 究

第 145 号

元禄八・九年飢饉下の

弘前藩における牢死について(上)

館山 誠 1

## 〔書評と紹介〕

関根達人著

『墓石が語る江戸時代 大名・庶民の墓事情』

長谷川成一 18

福田友之著『東北北部先史文化の考古学』

工藤 清泰 21

佐藤 信・小口雅史編

『古代史料を読む』上・律令国家篇、下・平安王朝篇

黒須友里江 25

本田 伸著『シリーズ藩物語 八戸藩』

葛谷 大輔 29

小口雅史編『古代国家と北方世界』

鈴木 琢也 32

『青森県史 通史編1 原始・古代・中世』(原始・縄文)

須藤 隆 36

『青森県史 通史編1 原始・古代・中世』(中世)

伊藤 清郎 42

『青森県史 通史編2 近世』

兼平 賢治 48

『青森県史 通史編3 近現代 民俗』(近現代)

竹永 三男 52

『青森県史 通史編3 近現代 民俗』(民俗 総論)

川島 秀一 59

二〇一八年度東北史学会・弘前大学国史研究会 合同大会記事

62

## 〔史料紹介〕

ジョン・イングによる弘前初の洗礼記録

北原かな子 (1)

弘 前 大 学 國 史 研 究 会

2018・10

平成三十年度弘前大学国史研究会大会が、二〇一八年度東北史学会との合同大会として、十月六日・七日、弘前大学において開催された。合同大会ということで会員以外にも参加を呼びかけ、また多くの国史研究会会員も研究成果を発表した（合同大会については本号の合同大会記事を参照のこと）。

十月六日、公開講演会終了後、午後四時十分から弘前大学創立五十周年記念会館会議室において国史研究会総会が開催された。総会では、会務報告、会計監査報告、会計報告、会則審議が行われた。会則については、顧問の設置について、その任命方法が明確でないことから、名誉会員と同様の任命規定（委員会の承認を得て会長が指名する）を希望する旨が事務局から提案され、承認された。また、次回の東北史学会との合同大会は、弘前大学国史研究会七十周年記念大会との合同大会として開催する予定であることが小口会長から報告された。

ついで新役員の改選があり、会長には引き続き小口雅史氏を選出され、他の役員任命については会長一任が了承された。会長からは他の役員は全員留任が告げられた。また、新委員に大谷伸治氏が任命された。それを受けて、委員の互選により、代表委員には武井紀子・瀧本壽史両委員が選任された。役員等は別表の通りである。

総会終了後、東北史学会と合同で懇親会が十八時から弘前パークホテルにおいて開催された。

弘前大学国史研究会役員等名簿

（平成三十年度～平成三十一年度）

○顧問	長谷川成一
○会長	小口雅史
○副会長	関根達人 福井敏隆
○代表委員	武井紀子 瀧本壽史
○委員	石山晃子 大谷伸治 工藤大輔 小石川透 鶴巻秀樹
	古川淳一 本田 伸 三浦忠司
○監事	竹内勇造 藤田俊雄

平成三十年十月三十日

弘前大学 國史研究 第一四五号

036-8560 弘前市文京町一番地

弘前大学人文社会科学部日本史研究室内

編集者 発行者 弘前大学 國史研究会

振替口座 〇二三〇〇一―六三四番